

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
芸術(美術)	造形演習	3	2	彫塑(黒彫版彫刻)、立体、デザイン等

到達目標 ※	立体の表現(様々な素材を使った立体造形や彫刻の表現)に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	平面の表現と立体の表現の違いや、それぞれの魅力を紹介し、紙芯材・木材・石材・針金・色砂等をもその特質を理解した上で活用して、奥行きを感じさせる作品制作を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	平面(絵画)から立体表現へ	透視図法、遠近法等を具体的な作品を挙げて紹介する。	授業観察(発言)	立体表現について積極的に理解しようとしているか。
5月	点描作品の制作	立体的な作品制作への導入。点の密度で立体的な表現を体験させる。作品の相互批評をさせる。	授業観察・作品(完成度)作品アピールカード・批評カード	点描の技法を十分に理解し、積極的に立体的表現に取り組んでいるか。
6月	彫刻(黒彫版)作品制作	具象的なレリーフ、立体的な文様等を施した彫刻を作らせる。作品の相互批評をさせる。	授業観察・作品(完成度)作品アピールカード・批評カード	アイデアを生かした工夫がなされているか。 立体的表現方法を理解して効果的に制作しているか。 彫刻刃の特性を理解し、その取り扱いの技術を身につけているか。 意欲的に取り組み、丁寧な仕上げができているか。
7月				
8月		オリジナル時計の制作	白彫版を土台に1学期に学んだ彫刻の技能を生かし、独創性に富んだ掛け時計を作らせる。作品の相互批評をさせる。	授業観察・デザイン画・作品(完成度)・作品アピールカード・批評カード
9月	万年カレンダーの制作	ベニヤ合板を土台にして、木材ブロック、針金、広告紙、粘土等を各自で用意し、使い方を工夫して全く新しい立体的な万年カレンダーを作らせる。作品の相互批評をさせる。	授業観察・集めた素材・作品(完成度)・作品アピールカード・批評カード	全体のデザイン性。1日(1駒)ごとに異なった素材や表現で工夫して数字が作られているか。
10月				
11月				
12月	砂の造形作品の制作	はがき大の台紙に色砂を立体的に使って、作品を作らせる。作品の相互批評をさせる。	授業観察・構想図・作品(完成度)・作品アピールカード・批評カード	色砂の特性を理解し、限定条件下で独創的な立体作品が工夫されているか。マチュールを工夫し、陰影が表現された立体的な仕上げとなっているか。
1月				
2月				
3月				

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。